

GeoCoach3D バージョン 8.1.0 更新記録

2015/11/02
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 図郭を要素に合わせる

「座標値」パネルのメニュー「最も近い線の上に移動」で、移動先の相手の線分上に点を挿入していましたが、相手の線が複数の要素が重なっている場合、一つの要素にしか点を挿入していませんでした。

相手側に複数の要素が重なっている場合、その複数の要素に点を挿入するように修正しました。

移動する点と移動先の表示位置が Z>-999.9 と Z=-999.9 で区別します。

データ		注記	要素	座標値		画像
番...	...	勾配%	標高差	水平...	Z座標	X座標
1					487.9000	-200566.4
2	↗	11.495	2.1000	18.2681	490.0000	-200559.0
3	↗	8.368	2.0000	23.9002	492.0000	-200549.2
4	↗	15.152	4.0000	28.2002	496.0000	-200538.3
5	↗	15.152	4.0000	28.2002	532.1	
6	↗	15.152	4.0000	28.2002	530.9	

[点]参照点にする

[点]最も近い線の上に移動 ←

[点]最も近い点上に移動

2. 点-注記チェック

メニュー[チェック 2]-[点-注記チェック]に、注記(E7)の中にある点(E5)のリストアップを追加しました。

点-注記チェック

対象の点(E5)

7311 標石を有しない標高点

7312 図化機測定による標高点

分類コードで指定

参照の注記(E7)

8173 標高注記

分類コードで指定

対象から参照までの最大水平距離(メートル)

点のZ値と注記の標高値の差の最大値(メートル)

チェック内容

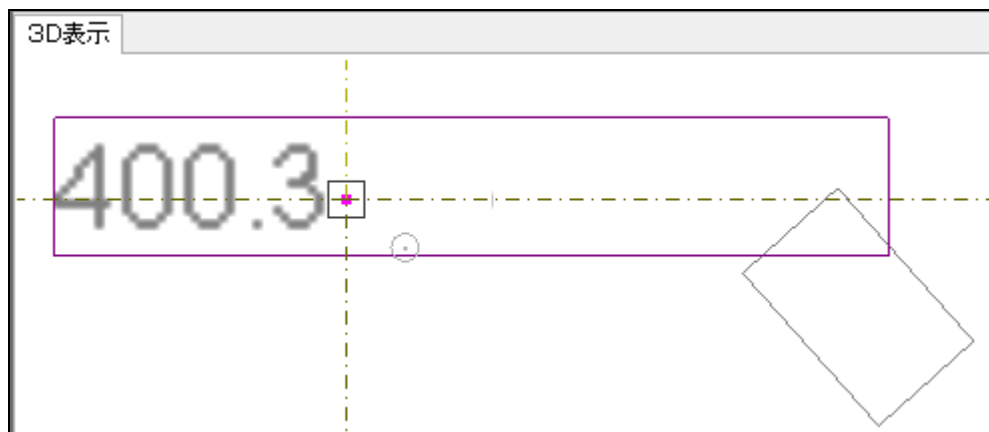
対応している注記がない点をリストアップ

対応している点と注記をリストアップ

注記の矩形範囲の中に入っている点 ←

注記の矩形範囲の中に入っている点

注記(E7)の文字数・字大・字間がなす矩形の中に、点(E5)が入っている場合、その点(E5)をリストアップします。・(E5)が矩形の線上にある場合は対象外です。このチェックは「対象から参照までの最大距離」「点のZ値と注記の標高阿多の差の最大値」は参照しません。



3. 要素リストアップ

[ツール]-[要素リストアップ]の処理に「注記の字隔を変更する」を追加しました。



注記の字隔を変更する

該当する注記の字隔を指定された値(1 から 99999 まで)に変更します。

4. ポリゴン内外削除

メニュー[砂防基盤図]-[ポリゴン内外削除]で、チェックボックス

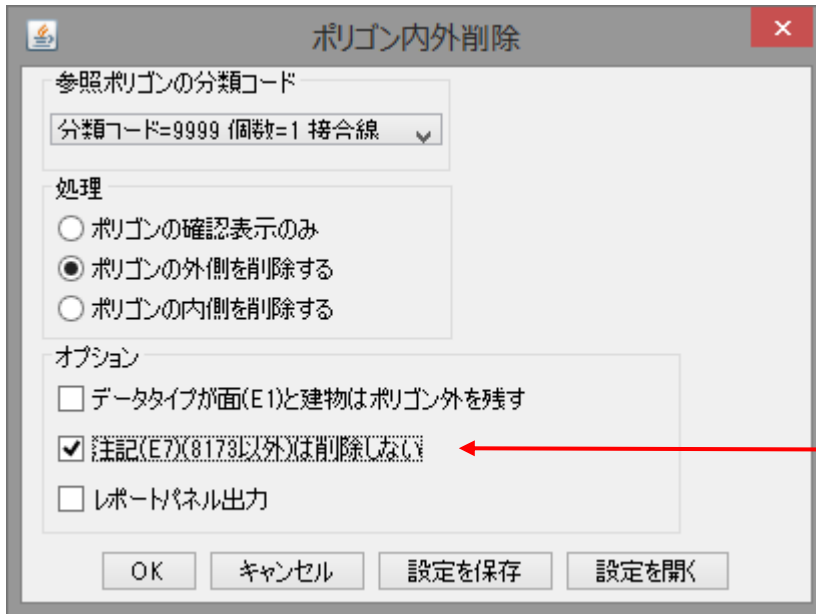
注記(E7)は削除しない

を

注記(E7)(8173 以外)は削除しない

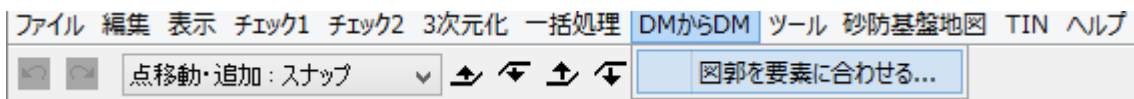
に変更しました。

このオプションが ON の場合、従来は全ての注記(E7)を残していましたが、バージョン 8.0.19 からは、分類コード=8173 の注記は削除します。

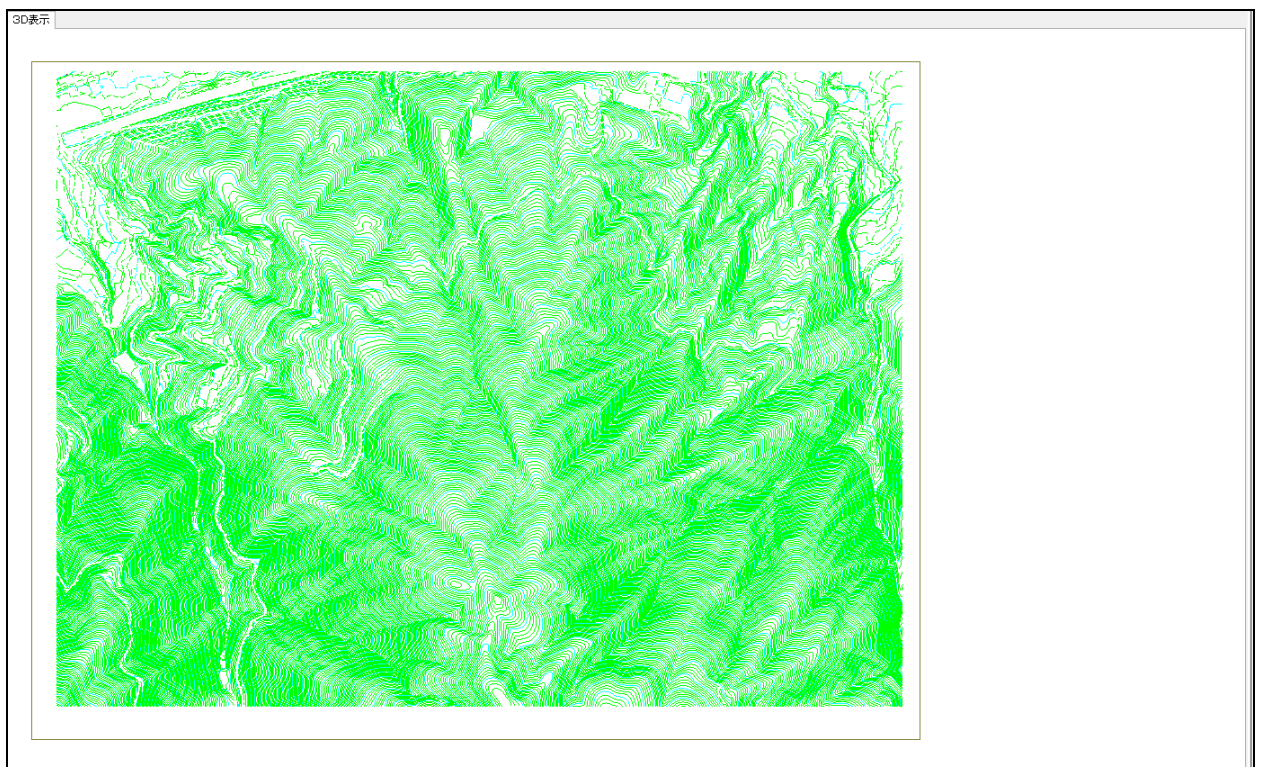


5. 図郭を要素に合わせる

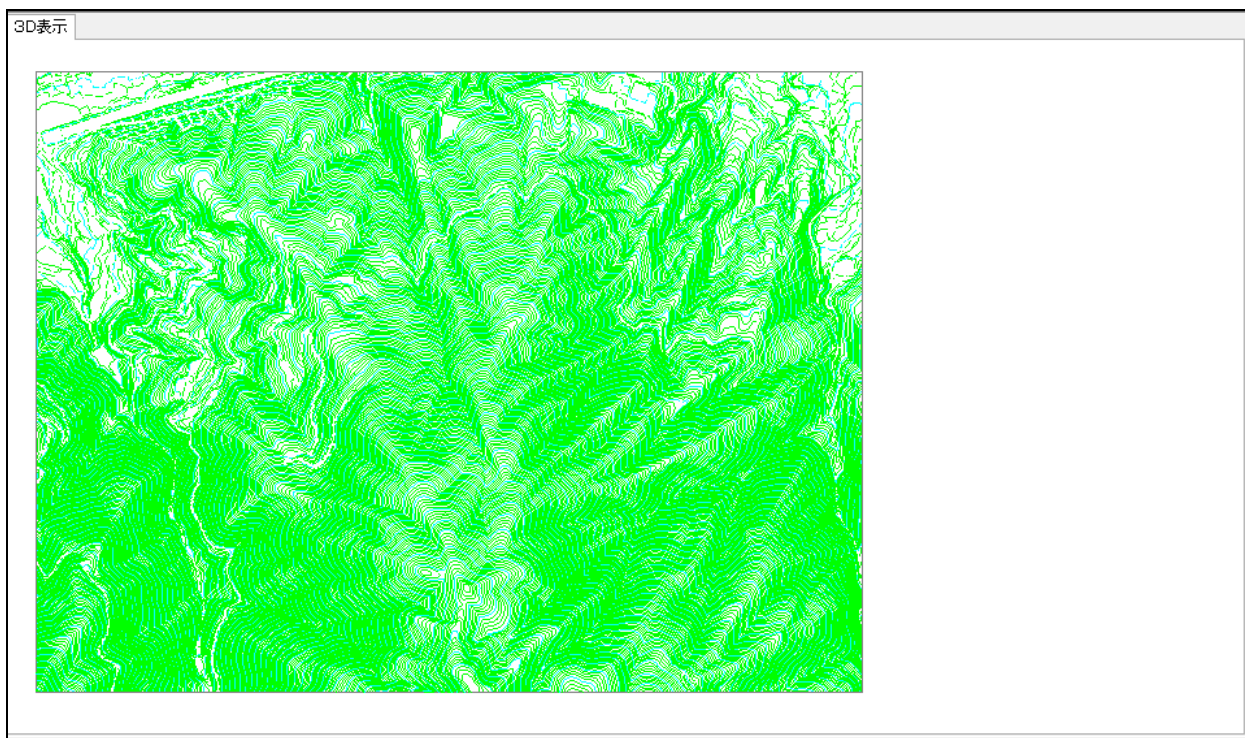
メニューバーに新メニュー「DM から DM」を追加し、新メニュー「図郭を要素に合わせる」を設定しました。



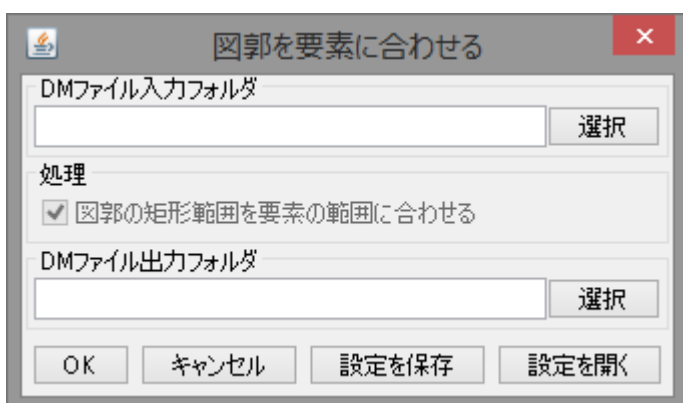
等高線など要素全体の範囲と、図郭レコードに記録されている図郭の範囲がずれている場合、要素が占める矩形を、図郭の範囲とします。



例えば、上図のように、図郭レコードに記録されている図郭の範囲(黒い矩形)と等高線が記録されている範囲が異なっているケースが処理の対象となります。



上図は処理結果の DM の表示例です。図郭レコードに記録されている図郭の範囲が変わります。図郭レコードの図郭について、南西角の座標が変わりますから、要素レコードに記録する座標も、新しい南西角を基準とした増分の値になります。



DM ファイル入力フォルダ

DM データファイルのあるフォルダを指定します。

処理

処理内容を明示するためチェックボックスです。

DM ファイル出力フォルダ

図郭の範囲を変更した DM データファイルを保存します。ファイル名は元のファイル名と同じです。

要素の範囲は

面(E1)

線(E2)

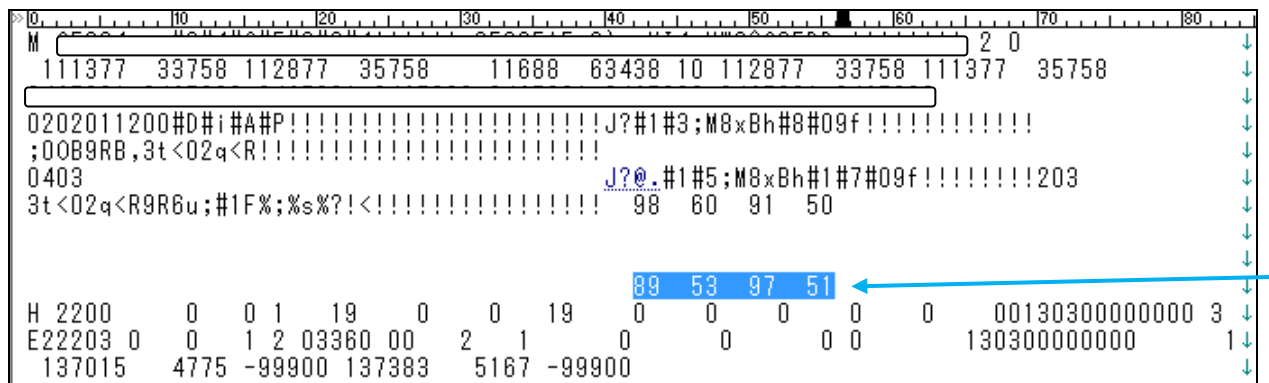
点(E5)

方向(E6) 方向の位置のみ参照し、方向を示す座標は参照しません

の座標で計算します。円(E3)円弧(E4)注記(E7)は参照しません。

等高線などの要素がある矩形範囲を、新しい図郭にします。そのため、図郭の一部にしか要素がない場合は、保存するDMの範囲が小さくなります。このようなことが予想される場合、例えば、分類コード=9999で図郭の範囲の矩形を作っておけば、その範囲が図郭の矩形として保存されます。

等高線等がある範囲がセンチメートルの端数がある場合、図郭レコード(e)の「図郭座標の端数」に記録します。図郭レコード(d)(e)(f)の組が複数ある場合、最後の組の(e)に記録します。



The screenshot shows a data table with a ruler at the top. The ruler has markings from 0 to 80. The table contains several rows of data. A blue arrow points to the cell containing the values '89 53 97 51' in the row starting with 'H 2200'.

M	111377	33758	112877	35758	11688	63438	10	112877	33758	111377	35758	2	0	
	0202011200#D#i#A#P!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!J?#1#3;M8xBh#8#09f!!!!!!!!!!!!													
	;00B9RB,3t<02q<R!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!													
	0403													
	J?@.#1#5;M8xBh#1#7#09f!!!!!!!!!!!!203													
	3t<02q<R9R6u;#1F%;%s%?!<!!!!!!!!!!!!!!!!!!!! 98 60 91 50													
H 2200	0	0	1	19	0	0	19	0	0	0	0	0	0	001303000000000 3
E22203	0	0	1	2	03360	00	2	1	0	0	0	0	0	130300000000 1
	137015	4775	-99900	137383	5167	-99900								

元のDMの図郭が東西南北に平行な矩形ではなく、傾いた四角形の場合でも、変換したDMの図郭は東西南北に平行な矩形になります。